活用方法の提案等依頼書

下記の注意事項に同意し、登録団体に対して活用方法の提案等を依頼します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 依頼者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  京都市中京区○○町488 | | | | 依頼者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名)  　京都　太郎  　　　　　　 電話　０７５－○○○－○○ | |
| 提出日 | | | 令和４年４月１日 | | |
| 対象となる京町家について | | 所在地 | 京都市中京区○○町○○番地 | | |
| 所有者 | 氏名(法人にあっては、名称及び代表者名。)  京都　一郎  土地所有者が異なる場合（　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| ※　依頼者と所有者が異なる場合は、活用方法の提案等を依頼することについて所有者の同意を得てください。 | | | |
| 所有者と依頼者  の関係 | | | 息子 | | |
| 付近見取図 | | | 添付地図参照  ※　住宅地図等を添付しても構いません。 | | |
| 京町家の概要 | 建築時期 | | 昭和３年頃 | | |
| 規模 | | 建築面積（　　　　　　　）平方メートル  延べ床面積（　約２１０　　）平方メートル | | |
| 現在の用途 | | □住居（自己所有）　　□住居（借家）  □店舗（　　　　　　）□その他（　　　　　　） | | ☑空き家 |
| 京都市の制度による指定等の有無 | | □有（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  景観や文化財、京町家条例に基づく指定等を受けている京町家の場合、ご記入ください。  □無 | | |
| 都市生活の中から生み出された形態又は意匠 | | ☑平入りの屋根　☑３以下の階数　☑一戸建て又は長屋建て  ☑隣地に接する外壁又は高塀　□通り庭　□火袋  ☑坪庭又は奥庭　☑通り　☑格子 | | |
| 備考 | |  | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 希望する協議内容 | □維持管理、修繕及び改修の支援  ☑活用の支援  （希望する活用方法）  　　☑賃貸住宅　□店舗　□宿泊施設  　　□その他（　　　　　　　　　）  ☑継承希望者との媒介の支援  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 備考  家族の住まいとして住んでいた時期もあったが、  ○年前から、住む者がなくなり、空き家となっている。  子ども時代から生活してきた思い出の住まいであり、  今後も大切に建物を使っていただける方に、  賃貸もしくは売却したい。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 依頼する登録団体の名称 | ＊＊＊団体 |

|  |
| --- |
| （該当する□には、レ印を記入してください）  京町家条例に基づく、協議の申請や、  解体の届出を行っている場合、  記入ください。  □　条例第１５条に基づく協議を求めている　　（申出書提出日　　年　　月　　日）  □　条例第１９条に基づく解体の届出を行った　（解体届提出日　　年　　月　　日） |

|  |  |
| --- | --- |
| 既に相談や業務の依頼等を行っている事業者の名称 | ☑既に相談や業務の依頼等を行っている事業者の提案内容の妥当性を確認するために依頼するものではない  ○○工務店に修繕を依頼している。 |
| 既に利用した京都市の制度 | まちの匠（屋根軽量化、外壁の劣化修繕） |

（注意事項）

・　登録団体（事業者等を含む。）が行う活用方法の提案等は、実施要領第１２条の規定に基づき、京都市にその内容について報告を行います。

・　依頼の対象となる京町家に賃借人その他の利害関係者がいる場合は、法令その他権利関係に基づいて、活用方法の提案等の依頼を行うことについて、必要に応じて当該利害関係者から同意を得るなど、所有者の責任において対応をしてください。

・　活用方法の提案等に当たって所有者等に費用負担を求める場合があります。その場合は、事前に登録団体（所属する事業者等を含む。）から説明がありますので、あらかじめ御承知おきください。

・　※印の欄は、記入しないでください。

注意事項です。よくお読みください。

|  |  |
| --- | --- |
| ※受付年月日及び番号 | 年　　　月　　　日　　第　　　　　　号 |